

名古屋教会手話教室

ニュースレター 第1号



2017年 秋

2014年に名古屋の金山で始まった教会手話教室には
毎回多くの参加者が集められています。



今から40年前、初めて手話を使う ろう者のクリスチャンと出会いました。その時はまさか、私が手話で聖書を読み、伝える者になるとは 思いもしませんでした。しかし、手話で語り合い、手話で祈り、手話で賛美する時に、私の目の前に、生きておられる父なる神と、イエス様が生き生きと存在するのです。



桜井 実 師

そして、今、名古屋で多くの皆様とともに手話を通して、主にある喜びを経験できることを心から嬉しく思います。ぜひ、多くの皆様に、この恵みを 味わって頂きたいと心から願っています。

明治学院大学卒、東洋ローア伝道教会手話通訳者となる
聖書神学舎卒業後、東洋ローアキリスト聖書学院教師、教会牧師歴任
現在、群馬県にある社会福祉法人恵みの園あけぼのコミュニティー教会牧師
サインズ・ミッション代表

主な著書 「あなたの小さなやさしさを」いのちのことは社
「森ユリの手話賛美」 〃
「聖書語句手話辞典2～4」 〃

クリスチャン手話、それは手と指の向こうに神さまが見えることば。
手話の学びを通して神さまから与えられる「出会い」があり、それはまた、自分と神さまと向き合う時でもあります。いと小さき私たちに与えられたものを、どのように受け止め、また お返しする事ができるのか。

ここで皆さんが育ち、賜物が活かされ、互いの関係が深められますように願います。
一緒にクリスチャン手話を学びつつ、前進していきましょう。



加藤久美子 師

トリーチャーズコリンズ症候群で生まれ、顎と頬骨の未発達と聴覚障害を負う
日本ホーリネス教団東京聖書学院卒業 東洋ローアキリスト教会奉職
現在、夫が牧師である広島福音教会の副牧師 サインズ・ミッション副代表
日本ろう者聖書学校講師 VIBI 日本ろう福音教会<手話通訳聖書>理事
日本ろう福音協会社員
ピリー・グラハム団体、レーナ・マリヤ、森祐理、各氏の手話通訳担当



2017年の1月から教会手話教室で学ぶ機会が与えられています。私は以前、聾学校に勤務していたため手話はできましたが、キリスト教用語や礼拝での手話通訳についてはほとんど知りませんでした。

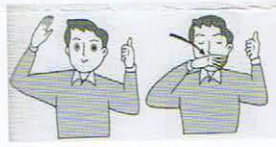
教会手話教室で初めて手話で御言葉を聞いた（見た）とき、今まで以上に御言葉が生きて私に語りかけてくるのを感じ衝撃と感動を覚えました。手話は、手の形、位置、動きによって構成されるため、神様と人間の立ち位置がはっきりと示されます。また、教理に基づいてキリスト教用語が表現されるため、御言葉の意味がよく分かります。例えば、「信仰」は「信頼する+出発する」、「悔い改め」は「心+改める」、「贖い」は「身代わり+救い」で表現されます。特に私の心に響いたのは、「あがめる」と「礼拝」という手話です。「あがめる」は表情や体全体で神を敬います。「礼拝」は人を表す5本の指が、神を拝み、神の前にひれ伏します。教会手話教室で学び始めてから、御言葉の意味をより深く考えるようになりました。

教会手話はろう者に福音を伝え、手話で恵みを分かち合う大切な働きです。

この働きが今後も祝福され、ろう者の心に届く手話通訳の学びが続けられていきますよう、お祈りしています。



「あがめる」



「礼拝」

(東洋ローア・キリスト伝道教会『聖書語句手話辞典』より)

第21回教会手話教室開催のお知らせ

日時 2017年 11月20日(月)

10:30~15:30

場所 金山キリスト教会

参加費 2,000円

今後の開催の予定

2018年 1月22日(月)

3月19日(月)

5月21日(月)

7月23日(月)

★金山キリスト教会★

名古屋市中区金山2丁目1-3

市民会館北の信号を東に曲がってすぐ右側

—お問い合わせはお気軽にどうぞ—

同盟福音基督教会 稲沢キリスト教会 後藤香代

rose_02041217_liebe@yahoo.co.jp

TEL & FAX 0587-24-5010

同盟基督教団 尾崎キリスト教会 三戸清子

TEL & FAX 0582-37-3157



蒲郡キリスト教会 新谷聖美

私は、2017年3月から、教会手話教室に参加させていただいています。まだまだ初心者ですが、敬愛する桜井先生、久美子先生を通して、手話を学ぶ機会が与えられ、感謝をしています。

今、私が遣わされている教会には聾者の方はおられませんが、この教室を通して、少しずつ理解が与えられています。手話は、1つの言葉です。その言葉を学ぶことによって、その背後にある文化も学ぶことになるのだと思われています。神さまが、手話を学ぶこの機会を与えて下さいました。このことも、神さまのご計画の内にあることだと受け止めています。いつの日か、手話を用いて「神さまはあなたを愛していますよ」と伝える日が来るかもしれません。そのためにも、少しずつでもしっかり学んで行きたいと思われています。

最近では、賛美している時、み言葉を読んでいる時、手話でどのように表現するのか考えている自分がいます。今の目標は、「主の祈り」を覚えることです。そしていつか、手話で祈ることが出来るように、と願われています。